たまねぎ

担当者 技能研究員 戸津 政紀

試 験 課 題 名	品種系統選定試験
目 的	本町に適した多収・髙品質・良食味品種を選定し、生産農家への普及に資する
期待される成果	地域適合複数品種栽培により生産性向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所

1 供試品種・資材

品種

スーパー北もみじ (七宝) **オホーツク222** (七宝) **北もみじ2000** (七宝) **イ** コ ル (タキイ)

2 耕種概要

土 壤 ~ 灰色低地土(埴壌土)

前 作~たまねぎ

播 種 日 \sim 3月23日 \qquad 定 植 日 \sim 5月12日 \qquad 収 穫 日 \sim 9月11日 栽 植 密 度 \sim 畦幅30cm×株間10cm \qquad 33,333株/10a当たり 試験区面積 \qquad 1.8m×2.0m

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壤診断結果

(mg/100g)

<u> </u>	(1110/ 2000)					
pН	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	Mg0	Ca0	熱水抽出N
6. 75	0.062	97. 5	34. 7	61	512.6	13.8

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

堆 肥 ~ 2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基 肥 \sim 硫 酸 ア ン モ ニ ア (21 - 0 - 0) 5月11日 全層施肥 基 肥 \sim 粒 状 過 燐 酸 石 灰 (0 - 18 - 0) 5月11日 全層施肥 基 肥 \sim 硫 酸 加 里 (0 - 0 - 50) 5月11日 全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K	
基肥	硫酸アンモニア	60kg	12.6	1	_	
	粒状過燐酸石灰	44kg	-	7. 9	_	
		硫 酸 加 里	20kg	-	1	10
		合 計		12.6	7.9	10

4 調査項目

生 育 調 査 ~ 播種日・発芽期・発芽率・定植時の苗質・定植日・倒伏開始 収 量 調 査 ~ 総収量・規格別収量

5 生育調査

項目		<u></u>	1種	スーパー 北もみじ	北もみじ2000	イコル	オホーツク222
播	種		日		3月2	25日	
発	芽		期	4月4日	4月4日	4月3日	4月4日
発芽	率 (%)	94	99	97	98
完插時	定植時の苗質	生葉	美数	2.5	3. 0	2.8	2.6
た他时の田貝	ク田貝	葉	長	24. 1	25. 3	22. 7	28. 0
		葉	数	5. 4	5. 6	5.8	6. 2
初期生	育6/25	葉	鞘	7. 2	8. 4	9. 3	9. 5
		草	丈	28. 7	37. 3	40. 7	41. 5
定	定 植 日				5月1	17日	
倒	片開]	始	8月2日	7月28日	8月2日	7月26日

6 収量調査

VI SAUL						
項目	品種 ///	スーパー 北もみじ	北もみじ2000	イコル	オホーツク222	
総収量(kg	/10a)	2, 502	2,678	2, 359	2, 873	
	2L	0	0	0	0	
規	L大	0	0	0	0	
格 <u>(</u> 別 %	L	0	1	1	0.7	
別 % 割	M	10	24	20	20	
合	S	54	51	53	53	
	外	35	21	24	25	

※規格 1球重 150~300g 2 L 9.0cm以上 L 大 8.0~9.0cm未満 L 7.0~8.0未満 M 6.0~7.0cm未満 S 5.0~6.1cm未満

7 病害虫防除履歷

	殺 虫 剤		除 草 剤・殺 菌 剤	
8月 2日	アディオン乳剤(ネギアザミ) 3,000倍	5月24日	グラメックス水和剤	
		6月25日	アクチノール乳剤・ナブ乳	剤
		7月 2日	スミレックス水和剤	1,000倍
		7月 2日	カスミンボルドー水和剤	1,000倍
		8月 2日	ジマンダイセン水和剤	600倍
		8月 4日	スクレタン水和剤	500倍

8 試験結果概要

(1) 生育経過

ハウス内直播で3月25日に播種を行った。発芽はイコルが4月3日、その他4日に発芽揃いとなった。発芽率はセル成型トレーに20粒ずつ播種し調査を行った。

定植は、5月17日に行った。定植時苗質では、基準品種のスーパー 北もみじが、24.1cm、葉数2.5枚となっている。6月25日に除草剤を散布したが、高温により薬害が発生してしまった。生育は停滞し、約2週間遅れとなった。

倒伏開始は、オホーツク222が7月26日と最も早く、次いで北もみじ2000が7月28日、スーパー北もみじ・イコルが8月2日となった。

(2) 収量調査と考察

今年の収量はオホーツク222 2,873kg>北もみじ2000 2,678kg>スーパー北もみじ2,502 kg>イコル 2,359kgとなり収量は昨年の半分以下となった。たまねぎの生育適温15~25度に対し7月、8月は平均最高気温が25度を超え30度近い日もあった。この為、軟弱徒長となり肥大量が小さくなったものと考える。また肥大期に薬害が発生してしまい、生育が停滞したことも要因となってしまった。